

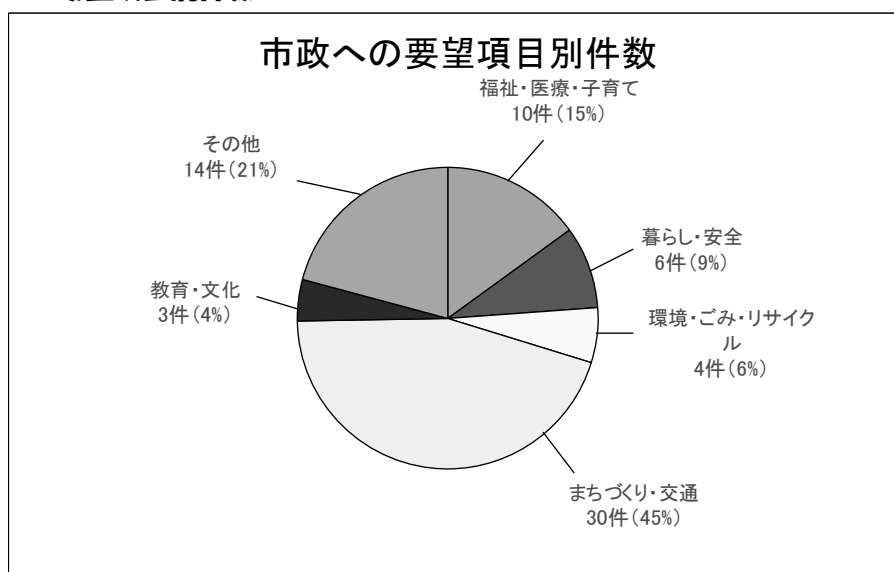
6. 過去の提案等取り組み状況

平成 21 年度 “タウンミーティング「市長と語る」” 提案等取り組み状況

テ ー マ ふれあい・支えあい・助けあい ～ご近所づきあいで築くまちづくり～
各会場の実績

開催日	会 場	地 域	地 区	福祉・医療・子育て	暮らし・安全	環境・ごみ・リサイクル	まちづくり・交通	教育・文化	その他	合 計
5月16日	台町市民センター	中央	本 庁	0	0	0	10	1	2	13
5月23日	由木中央市民センター	東 部	由 木 由 木 東 南 大 沢	2	3	1	3	0	4	13
5月30日	北 野 事 務 所	東南部	由 井 北 野	0	2	1	4	1	1	9
6月13日	浅川市民センター	西南部	浅 川 横 山 館	3	1	2	7	0	3	16
6月20日	元八王子市民センター	西 部	元八王子 恩 方 川 口	4	0	0	3	0	1	8
6月27日	加住市民センター	北 部	加 住 石 川	1	0	0	3	1	3	8
合 計				10	6	4	30	3	14	67

市政への要望項目別件数



ご意見・ご提案をいただいたその後の取り組み状況の一例をご報告すると……

平成 21 年 5 月 16 日・台町市民センター【中央地域】

＜意見＞《上野町第二地区の区画整理について》

上野町第二地区の区画整理はいつごろに完了する予定か。

(田倉 栄一 様)

《市長》上野町第二地区の区画整理については、移転が 95.1% 済んだ。23 年で全部完了する。

【対応】 厳しい財政状況の中で、平成 23 年度事業収束に向けて努力してる。

＜意見＞《町会管理の防犯灯から市管理の街路灯への切替等について》

街灯について。現在長房町の船田町会の街灯のうち町会が設置しているものが多すぎて、町会費と市の補助だけでは維持が相当厳しい。しかし、防犯上の点からも減らすわけにはいかないので、市所有の街灯等を増やして欲しい。

(早川 満 様)

《市長》市の補助金は 2 分の 1 ということで皆さんにご理解いただいている。町会自治会にみなさんがぜひ入っていただいて、みなさんで支えあって欲しいと思っている。その辺りは、申し訳ないがよろしく願います。

【対応】 公衆街路等の設置にかかる補助率については、1/2 での設定に変更はないが、町会・自治会の維持管理の負担軽減及び環境面への配慮から、ランプ寿命が大幅に長く、かつ消費電力が低い LED 型の積極的な導入が図れるよう、補助要綱を見直し、新たに補助基準を設けるところ。(平成 22 年 4 月 1 日施行)

道路照明灯については、夜間における車両交通の安全円滑をはかることを目的とし、交通安全上必要な個所には、町会や自治会と協議して設置しており、現行対応している。

平成 21 年 5 月 23 日・由木中央市民センター【東部地域】

＜意見＞《FM 由木（南八王子）の開設について》

「ふれあい」に関して、ラジオの FM 放送、FM 由木(南八王子)の開設をお願いしたい。住民の情報交換媒体として地域限定型の弱い出力の FM 放送開設を市が主導となって検討を進めていただきたい。FM 多摩のような既存の標準放送プログラムをベースに、地域限定の情報をとところどころに入れて地域のコミュニケーションを図っていただきたい。運営は、マスコミに勤めたいという学生に依頼して運営費の削減を図ればよいと思う。

(中村 史朗 様)

《市長》 大変面白いと思うけれども、実現するのは難しいと思う。経営的にはものすごく厳しい。また、学生中心で運営すると、オープンする日にちや時間が決まってしまう。また、運営する学生が卒業していったって変わっても思いが伝わるかどうか等、問題点がある。基本的には民間の方々が、実際じゃあ少しずつでも出し合ってやろうじゃないかというような、気運が盛り上がれば、市としては積極的に応援をさせていただきたい。

【対応】 今後、民間等で立ち上げるなら、支援は積極的に行いたい。なお、FM多摩は経営上の問題から2010年3月31日をもって、放送を終了している。

＜意見＞ 《里山の保全について》

「堀之内寺沢里山公園」が東京都環境局により里山保全地域指定という形で地域指定を受けた。私も農業者として計画に参画してURに助言したりもしてきた。市にも行政としてこういう地域環境保全活動の後ろ盾となって欲しい。

(鈴木 亨 様)

《市長》 里山保全を中心に八王子の環境を大事にしようというようなお話、そのことは大切なことだと思う。地元の方たちと協力して、積極的に取り組んでいきたいと思う。実は、定額給付金が要らないという人は、是非、緑地の保全をするための基金に寄付してほしいというお願いもしている。19住区の東山地区については、私共も、このまま自然を最大限残すようがんばってきた。一緒に皆さんとですね、力を、知恵を出し合っていい環境のまちづくりを進めていきたいと思っている。

【対応】 里山の保全について、地域との協働により指定された「八王子堀之内里山保全地域」は、東京都と密に連携をとり、土地所有者の協力を得ながら、指定することができた。指定後も里山の重要性や保全の必要性について、理解を深めてもらう啓発事業として、八王子市が主催で地元NPO団体の協力により、親子里山体験講座を開催した。

平成21年5月30日・北野事務所【東南部地域】

＜意見＞ 《障害者の防災訓練参加について》

去年と今年、防災訓練に参加した。大変勉強になった。特に、昨年、課題別訓練。長房町会の方たちと一緒に訓練をした。見るだけでなく障害を持っている者が健常な方と一緒にコミュニケーションしながら訓練できるような企画をつくってもらえれば大変ありがたかった。外国の方も参加するような訓練の方法をやってもらえると、ありがたい。地震の多いアジアの地域の行政の方たちを招いて、自分の地域の市民は自分たちで守るという方法を学びあう、啓発のための勉強ができるように、八王子がまずリーダーシップを取っていただければ大変喜ばしい。

(宮本 一郎 様)

《市長》 今年も総合防災訓練を、8月30日に予定している。ぜひ多くの要援護者の方に参加をしていただき、経験を積んでいただくことが大事なことだと思う。それぞれの地域で地域の活動に参加され、そして一緒にそういった経験を積まれることが大事なことだと思う。市の防災課にお問い合わせいただければ、一緒に参加して、より大きな効果が出せるように、我々も取り計らいたいと思っている。八王子がモデルケースとなって、アジアの国々にも発信ができるようにという、大変前向きなお話。私どもも、目標にしていくべきだろうとは思っている。そのためには、いろんな経験を我々もして、そして積み重ねる、自助、共助が大事なことだろう。

【対応】 10月18日に総合防災訓練を実施し、聴覚障害者協会の方々にも参加いただいたが、訓練を延期した関係でふれあい運動会と重なってしまったことから、提案者の意図する内容の訓練まではできなかった。今後も訓練を継続していく中で、共に検討させていただきながら充実を図っていきたいと考えている。

なお、本年2月にスタートした第3期目の「外国人市民会議」では、外国人の「就労」と「防災」をテーマに取り組みを行っている。

＜意見＞ 《災害時一人も見逃さない運動とマップの保管場所》

八王子全体で「災害時一人も見逃さない運動」をやっている、民生委員も一端を担っており、マップづくりをしている。マンション、アパートが非常に多い関係で、調査するというのは非常に困難だ。無理やりに、調査をするわけにいかないの、マップから漏れてる方が非常に多く、問題ではと思う。障害をお持ちの方がいられるお宅や、高齢者だけでお住いになってるお宅も、調査の対象にしたほうがいいのではないかと。また、マップの保管場所を、どこにしたら良いかが非常に問題だ。例えば、町会の自主防災会のほうに、お預けできたらいいんじゃないか。

(阿久津 稔 様)

《市長》 災害時なんか一人暮らしの方とか、あるいは障害のある方が、どこの御家庭におられるというようなことが、少なくとも民生児童委員の皆さんが承知をしておられるということは、すごく大事なことだろうと思っている。マップづくりも18年から御協力いただいて、ここで出来上がる。それを有効に活用していただくということは、大事なことだが、どう保管するか。確かにお話があったように、難しい問題だ。マップが作られても、必要な人の手に入らないようじゃ意味がない。よく考えて作ったものが、十分に活用されるように、体制を整えたいと思う。

【対応】 現在取組みを検討している災害時要援護者避難支援対策においては、民生・児童委員の日頃の活動により得た情報は非常に貴重なものと考えているが、個人情報保護の観点から、その情報をそのまま地域の組織に公開することはできない。今後、避難支援対策の検討の中で一定の手続きや対応を経ることで効果的な活用を図っていきたいと考えている。

＜意見＞《不法投棄 管理カメラ作動中の看板設置》

裏高尾地区は行き止まりの道路で、昔から泥棒のプロは入ってこないと言われてきた。しかし最近、高尾山の観光客が増加し、ごみの不法投棄など多くの心配がある。そのため、地元消防団、高尾警察、市役所など多くの方に夜間もパトロールを実施していただいている。裏高尾地区全体の防犯のため入口の駒木野地区または駐在所の近くに、「この先不法投棄監視カメラ作動中」の看板、また監視カメラの設置を提案する。

(峯尾 丈士 様)

＜市長＞ 地域の皆さんにも御協力いただいて、青パトのパトカー走らせていただいている。この台数はもう100台を超えた。これは警視庁管内で一番だ。それだけ地域の皆さんが、防犯活動に熱心に取り組んでいただいている。安全・安心のため、御努力をいただいていることであり、大変素晴らしいことだし、その効果は確実に出ている。大変ありがたい。不法投棄の監視カメラ、これは確かに効果がある。ですから地域で、こことここというようなお話をいただければ、私どもも協議させていただき、やります。

【対応】 町会・自治会が実施している。地域における自主的な防犯活動への支援（青色回転灯等のパトロール用品の無償貸与及びボランティア保険の加入など）は継続して行っている。看板や監視カメラについては、タウンミーティング後に、摺指町会長・荒井町会長・小仏町会長と調整。複数個所に設置済みである。

＜意見＞《路線バス運行要望》

南浅川町会は、路線バスの運行を要望したい。3年ほど前までは、京王バスが6時台、7時台、8時台と走っていた。現在では、神奈中さんのバスが、9時発だけということになっている。そのため、学童は親御さんたちが自家用車で高尾山口駅まで来る、あるいは学校まで送るといのが現在そのようなかたち。何としても町を残していくためには、少なくとも老人用の医者に行くバスと、その時間に間に合う、8時台の時間帯で1便だけでもいいから、何とか路線バスの増便を認めて欲しい。

(高橋 保 様)

＜市長＞ 増便というのは難しいと思う。ただ、神奈中に増便をしると言っても、まず不可能だと思う。ほかの地区でも一番頭の痛い問題の一つ。同じように人口減少地域がある。地域で半分お金を出し、市でも半分出すとか、コミュニティバスみたいなもの、あるいは定時で走るタクシーとかを代替に使うとか、いまいろいろテストをやっている。規制緩和が行われた結果、バス路線を廃止する場合、通告だけでできる。そういうふうに制度が変わった。これは全国的な問題。国でも、公共交通の確保のためにどう支援をできるか、いま検討してくれている。いま市内他地域でも試みをしているので、ぜひ相談しましょう。まず、地域をまとめてください。

【対応】 路線バスを運行している神奈川中央交通(株)に状況を確認したところ、現状維持するのかなり厳しい状況であり、増便は考えられないとの回答あり。

路線バスを増便することは難しく、他の運行方法として、現在、恩方地域の小津地区や醍醐・降宿地区で、市と地域で費用を負担し、貸切バス・乗用タクシーによる試行運行を行っている。

今後、高齢化が進み、他の地区においても高齢者の足の確保の問題が考えられており、地域がまとまり相談をいただけたら、その地域に適した乗物について協議していきたい。

南浅川町から浅川小学校へ通学する児童に対し、この地域のみ特例的に保護者の自家用車による送迎の場合、自動車送迎のガソリン代相当分を教育委員会が補助を継続している。

平成 21 年 6 月 20 日・元八王子市民センター【西部地域】

<意見> 《松枝橋の改良工事について》

松枝橋から四谷の交差点にかけての渋滞が非常に激しい。橋の改良工事がいつごろできるのか、またどの程度のものができるのか、尋ねたい。

(浦野 節郎 様)

《市長》 松枝橋の架け替え、拡幅。いま東京都が、鋭意努力している。工事の内容は、現在の車道 6 メートルが、車道は両側で、幅員 20 メートルになる。それから、歩道も当然のことながら広く取る。完成目途は、工事が渇水時期しかできないこともあり、5 年から 7 年後ということになっている。

【対応】 全体の工期は平成 19 年から 26 年度の予定。

平成 21 年度については河川内用地取得及び新橋の設計変更をおこなった。平成 22 年から仮橋架設工事を行い、平成 24 年から新橋架設工事を行う予定。

ひきつづき早期整備について、事業者である東京都南多摩西部建設事務所に要望していく。

<意見> 《高尾駅の南北通路について》

高尾駅の南北通路はできるできるという話は以前から聞いているが、どの程度のものがどのようにしてできるのか。当然、伴う高尾駅前の改良工事についても含めて説明を聞きたい。駅舎は、ある程度の文化財みたいな形になっているのか。

(浦野 節郎 様)

《市長》 結局、駅舎の改良、駅前広場の拡張、これも含めてセットでやろうということになった。駅のほうは、調査委託を JR に出しており、JR 東日本から、近いうちにその結果が出てくると思う。それにより、来年度以降、着工となる。したがって、今、何年かかるということを示し上げる段階ではない。南北自由通路で、お困りになってる高齢者の方もおられるので、JR のほうで、例えば南北を自由に行き来できる定期券のようなものを出してもえないか、交渉も進めている。半分ちょっとぐらい市で負担、利用者の方にも、負担していただくことを前提で、話を進めている。駅舎を、何らかのかたちで、活用しようということも、検討している。

【対応】 平成 21 年度は、橋上駅化を含む自由通路の基本的な構造や概略の工事費及び工期等を検討する調査設計を JR 東日本へ委託し、実施した。今後は、今回の調査設計を基に、自由通路建設に向けた基本協定を鉄道事業者側と締結する予定である。

南北の行き来についての対策としては、平成 22 年 1 月から 6 月までを試行期間とし、高尾駅を通り抜ける際に必要な入場券及び定期入場券の購入費用について、65 歳以上または障害のある方を対象に、1 カ月 2,000 円（こどもは 1,000 円）を上限とした補助事業を実施している。登録期間（平成 21 年 12 月 15 日～平成 22 年 1 月 15 日）における登録者数は 355 名であるが、その後の問い合わせが多いことから、平成 22 年 3 月 25 日～4 月 7 日に追加登録の募集を行う。

駅舎については、活用に向けた構造的な基礎調査を平成 21 年度に行っており、この調査において明らかになった構造的な課題も含めて、現在、引き続きなるべく高尾駅周辺で活用できるような方策を検討している。

平成 21 年 6 月 27 日・加住市民センター【北部地域】

＜意見＞ 《パソコントレード等の公的講習が受けられる場を》

パソコンを使って株式などの投資をやるには、パソコンを勉強する必要がある。残念ながら、市内には、安く使えるパソコンを備えた場所がない。ぜひ八王子の駅の近く、公共的な場で、パソコンを 10 台ぐらい揃えて使えるような施設を、つくってもらえないか。パソコン教室を証券会社が、使いたいという話については、使用を認める余地があるんじゃないか。また、いろんな応用講座を、駅の近くで勉強する機会がほしい。

（納土 伸男 様）

《市長》 オンライントレード講習を、行政がやるということは考えていない。パソコンの講習教室は八王子でもやっている。今年 25 講座、延べ約 60 回開催を予定している。生涯学習センターではサークル活動等で使用するパソコンも、12 台あり、無償で館内で使用できる。

講習会も、積極的に開催している。それを、しっかり PR もしていきたい。営利を目的として施設は使えないが、個人あるいは団体が借りて、講師を呼んで勉強するのなら使える。パソコンの講習会も、こども科学館でも、駅前の生涯学習センターでもやっているのので、御活用いただけたらと思う。

【対応】 各施設が設置目的に合わせて、パソコン教室を実施している。また、これらの PR も引き続き行っていく。

オンライントレードの講習は行政が実施するものではないと考える。

こども科学館では、引き続き初心者向けやこども向けのパソコン教室を、5 講座延べ 13 回開催している。

生涯学習センターでは、平成 21 年度にパソコンの講座は 16 講座、延べ 82 回開催した。サークル活動等で使用できるパソコンも、12 台あり、無償で館内貸し出しを行った。今後も、継続してパソコン講座及びパソコンの貸し出しを実施していく。

＜意見＞ 《市管理職による地域サポーター制度を提案》

市の職員、主に管理職の方の、地域の担当者制度を是非、作って欲しい。自治会と市のパイプ役として、自治会の要望を市に伝えたり、連絡事項を住民に伝えたり、具体的に自治会の会合に出席し、住民から出されている苦情、問題等現状を、市のラインに乗せて市役所と住民の

距離を縮め、無駄のない行政を作って欲しい。

(名児耶 博 様)

《市長》 現実的には厳しいと思う。八王子には、557の町会自治会がある。管理職が170名。全部に張り付けると一人の管理職が、3から5町会担当することになる。うちの職員は、非常に積極的に地域活動に参加している。8割を超える職員が、町会自治会、PTA、消防団や子供会育成会で活動をしている。(地域担当者制度を行っている)自治体もあり、調べてみた。そこでは職員に、手当を出している。八王子で行うと1年に10時間として、2,000万ぐらいかかる。費用対効果も考えたり、積極的に地域の皆さんと一緒に活動しているという実態から考えると、その必要性はないと思っている。担当の協働推進課も、何か問題等あったら御一報いただければ対応ができるようになっており、ぜひそれは御活用いただければと思う。

【対応】 市長答弁のとおり、多数の町会自治会を抱える本市において地域担当制を敷くことは、担当する数や費用対効果を考えると、現実的には厳しい状況にある。

しかしながら、市職員が、市民の目線で行政運営を進めることは、非常に大切であり、今後も、引続き、職員が、地域活動や市民活動に積極的に参加するよう研修などを通じ働きかけていく。